

環境経営レポート

株式会社太田鉄工所

2023 年度

(対象期間 2023 年1月1日～ 2023 年12月31日)



目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	

私たちの工場で、あなたの夢を叶えてください。

株式会社 太田鉄工所ではあらゆる金属を加工しています。
単品制作を主としていますが、機械で加工できるものならなんでも挑戦しており、
小さい会社という特長を最大限に生かし、
フットワークの良さでいろいろなニーズにお答えします！

ベテランから若手まで、ひとつひとつの製品に対する熱意は誰にも負けません。
ぜひ一度当社にご注文ください。かならず御社に満足いただける製品をお届けします。

環 境 経 営 方 針

21世紀は環境の時代と言われています。
地球環境を維持・改善し次世代に引き継ぐことは企業の重大使命のひとつであるとの認識に立っております。

また色濃く自然の残る泉北丘陵に立地する当社は地域の環境を守り、
より良くするために積極的に環境保全活動に取り組みます。

当社の精密金属部品製造の事業活動における環境負荷の低減のため、
行動指針をつぎのように定め、環境経営の継続的改善を行います。

環境保全への行動指針

当社は、環境基本理念に基づき以下の『行動指針』を定めます。

(1) 環境関連の法律・規制・条例等を遵守します。

(2) 次の環境負荷低減の活動を行います。

① 脱地球温暖化社会のために二酸化炭素排出量削減を行います。

② 廃棄物の削減・リサイクルを行います。

③ 環境型社会のため水を大切にし、使用量削減に努めます。

④ グリーン商品の購入を行います。

⑤ 環境に配慮した金属部品の製造に努めます。

⑥ 地域環境向上のためのボランティア活動を推進します。

(3) 全従業員への周知徹底を行い、環境に関する意識向上に努めます。



制定日：2012年8月1日

改定日：2021年5月25日

代表取締役 太田 勝久

組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名

株式会社太田鉄工所
代表取締役 太田 勝久

(2) 所在地

本社・工場 大阪府堺市中区檜葉162-4

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 営業主任 太田 侑吾

TEL : 072-230-5591

FAX : 072-230-5593

メールアドレス : otal@smile.ocn.ne.jp

HPアドレス : <https://www.ota-smile.com/>

(4) 事業内容

金型・精密金属部品の試作・単品の製造

(5) 事業の規模

売上高 153,928 千円

従業員	名	19 名
延べ床面積	m ²	466 m ²

(6) 事業年度

1 月 1 日 ~ 12 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 株式会社太田鉄工所

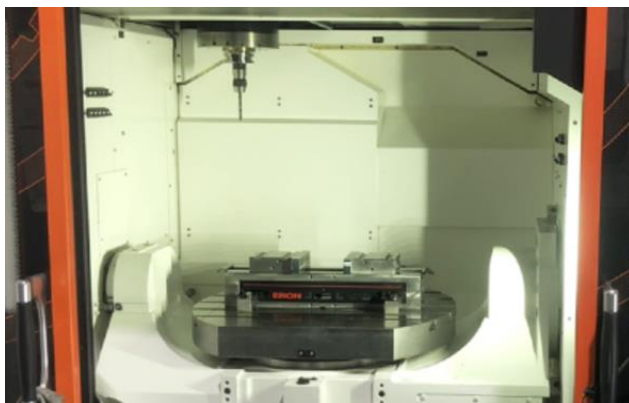
対象事業所 : 本社・工場

活動 : 金型・精密金属部品の試作・単品の製造

□事業の紹介

製品紹介
PRODUCT

各種樹脂・非鉄金属・アルミ・SS・ステンレスなど
様々な素材に複雑で特殊な加工を行います。製品の
バリエーションをご確認ください。

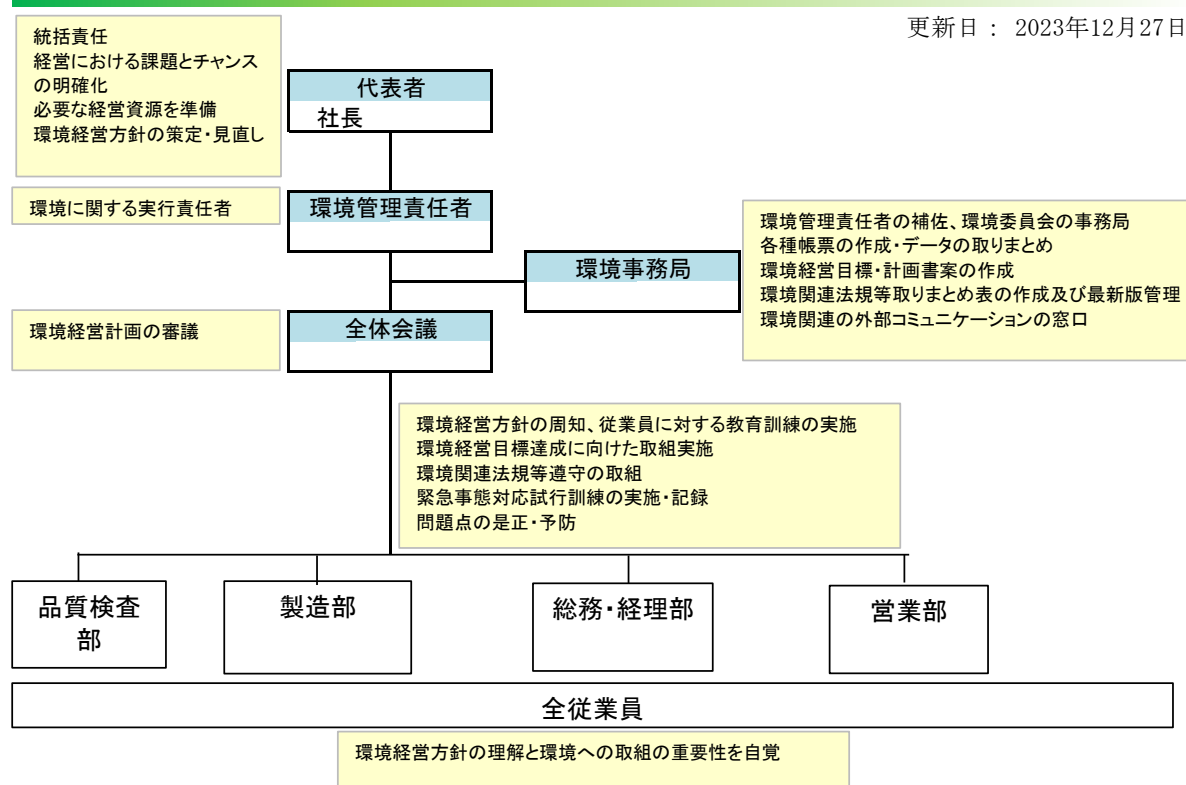


設備一覧
EQUIPMENT

18000回転仕様の5軸機をはじめ、数種類のマシン
ニングセンタ・NC旋盤・NCフライスを取り揃えてお
客様のご要望に対応いたします。

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2023年12月27日



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	67,189	97,010	102,030
Scope1（化石燃料）	kg-CO ₂	4,604	4,061	4,318
Scope2（電力）	kg-CO ₂	62,585	92,949	97,712
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	764	824	500
産業廃棄物排出量	k g	1,800	1,100	2,050
水使用量	m ³	151	151	156
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.434	0.434	0.434
		関西電力	関西電力	関西電力

kg-CO₂/kWh

※二酸化炭素総排出量には目標設定していないLPGが含まれています。

環境経営目標及びその実績

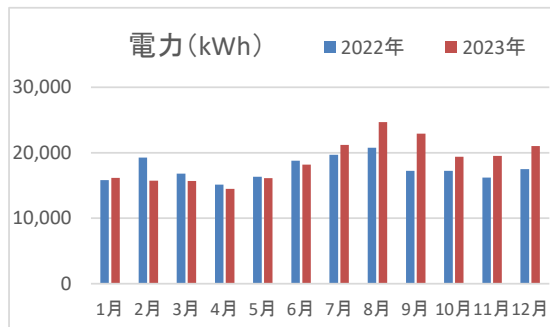
年 度		2022年度	2023年度		評 価	2024年度	2025年度
項 目		（基準値）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
電力による二酸化炭素	kWh	214,168	214,168	225,142	×	212,026	209,885
	基準年度比		100%	105%		99%	98%
売上高原単位	kWh/千円	1.391	1.391	1.345	○	1.377	1.364
	kg-CO ₂	92,949	92,949	97,712	×	92,019	91,090
	基準年度比	21806年	100%	105%		99%	98%
売上高原単位	kg-CO ₂ /千円	0.604	0.604	0.584	○	0.598	0.592
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,023	4,023	4,280	×	3,983	3,942
	基準年度比		100%	106%		99%	98%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	96,972	96,972	101,991		96,002	95,032
一般廃棄物の削減	kg	824	766	500	○	766	742
	基準年度比		93%	61%		93%	90%
廃油（油水）の削減	kg	1,100	1,078	2,050	×	1,056	1,045
	基準年度比		0.98	1.86		0.96	0.95
水道水の削減	m ³	151	151	156	×	149	148
	基準年度比		100%	103%		99%	98%
化学物質の適正管理	行動目標（次項による）						
環境に配慮した機械加工（不良品の削減）	行動目標（次項による）						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標（次項による）						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	まだエアー漏れがあるところはあるようなので、エアーチューブの交換等を随時行っていく。これで少しは改善しないか様子は見たいが、基本ベースが上がっているの、中々節電は厳しいと思われる。 売り上げ当たりのCO2排出量は改善した。
原単位目標	○	
コンプレッサーの圧力調整	○	
機械のエアー使用量の効率アップ	×	
作業工程の見直しによる稼働時間の短縮	△	

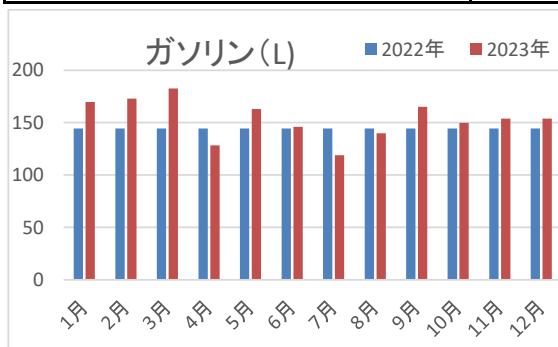


取組紹介欄



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	15,801	19,278	16,824	15,132	16,337	18,776	19,682	20,786	17,258	17,258	16,220	17,505
2023年	16,183	15,747	15,693	14,470	16,140	18,184	21,178	24,690	22,929	19,387	19,528	21,013

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	顧客の多様化に伴い配達箇所が多くなってしまっている。まとめて出荷等で増加を防ぐ。
・エコドライブの浸透	○	
・効率的なルートで配送	△	

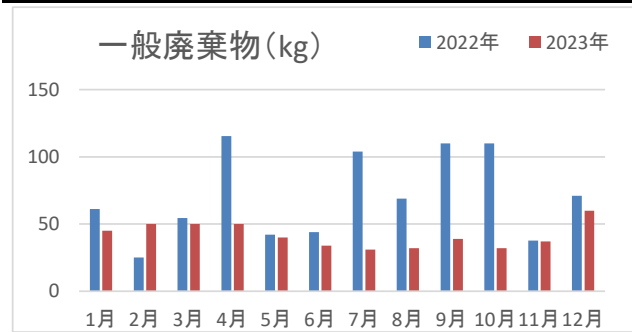


取組紹介欄



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	145	145	145	145	145	145	145	145	145	145	145	145
2023年	170	173	183	128	163	146	119	140	165	150	154	154

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	正しく計測できていると思われるようになったが、200キロも分別をしている気がせず、減量の理由はわからない。
再生紙や裏紙の使用	○	
分別資源化の強化	○	
資源ごみの分別資源化 (新聞紙・段ボール等アルミ・スチール品)	○	

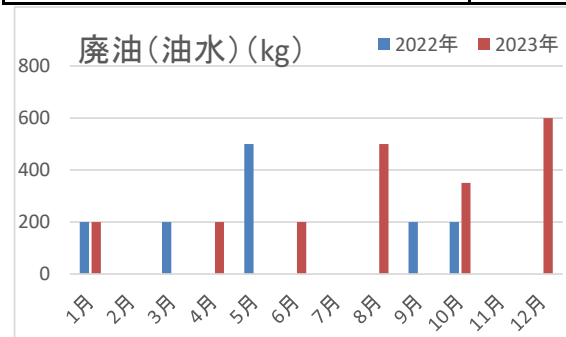


紹介欄



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	61	25	55	116	42	44	104	69	110	110	38	71
2023年	45	50	50	50	40	34	31	32	39	32	37	60

廃油(油水)の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	掃除をすると大幅に増える(2年に1回程度機械の中の水の入れ替え)年にもよるが、これくらいは出てしまう。
切削水の再利用	×	
掃除のタイミングの見直し	×	

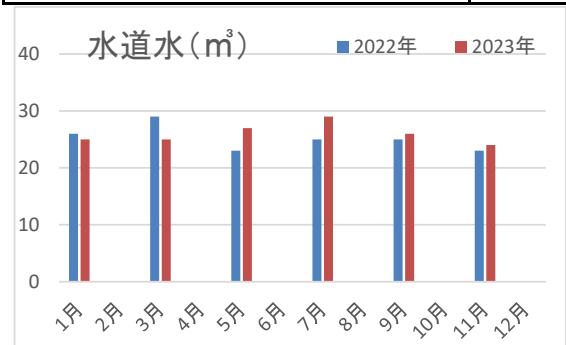


取組紹介欄



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	200	0	200	0	500	0	0	0	200	200	0	0
2023年	200	0	0	200	0	200	0	500	0	350	0	600

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	実行に移すことができなかった、ただ、むづかしい話ではないので、行っていきたい。
水漏れのチェック(メーターチェック)	×	



取組紹介欄



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	26	0	29	0	23	0	25	0	25	0	23	0
2023年	25	0	25	0	27	0	29	0	26	0	24	0

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・リスクアセスメントの実施	○	現状もないが、今後もないように注視する。
・有害性物質の表示の徹底	○	

取組紹介欄



環境に配慮した機械加工(不良品の削減)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
NGした場合の情報の共有化 (2度としないために、誰もしないため)	○	再加工品のみをカウントするようになった。 そのため、件数が大幅に減った。

取組紹介欄



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	△	まとめると、すべてにおいて進んではいるが、進み具合が遅い、やりやすいも尾やりにくいものがあると思うが、今後はもう少し具体的に期限も決めて進めていく
・企業価値向上による顧客獲得	○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	△	
・新製品のPR	△	
・働き方改革	○	

取組紹介欄



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法（大阪府条例）	空気圧縮機の設置
振動規制法（大阪府条例）	空気圧縮機の設置
家電リサイクル法	冷蔵庫、エアコン、洗濯機
消防法（危険物）	危険物の保管
フロロ排出抑制法	業務用空調機、エアードライヤー
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

外部からの環境上の苦情・要請等

対象期間中にはありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練



緊急事態の想定： 火災の発生
■実施日： 2023年1月16日
■参加者： 社員全員（17人）
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練
■評価： 手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし 例年通りであったが、新しく入った人に重点的に避難場所や避難経路を訓練した。

■実施状況の様子



代表者による全体の評価と見直し・指示

【電力】大型機械を導入しているので、電力の使用量が増えていると思われる。
機械の導入もこの先数年は検討していないので、昨年を基準に今後削減を目指していきたい。
【排水、污水】2018年より、3台の増加があるので、これも昨年を基準に削減を目指していきたい。
【ガソリン】営業活動が活発化しているので、仕方ない面がある。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

①堺市による無料コンプレッサチューニング設定によるCO2削減の成功事例

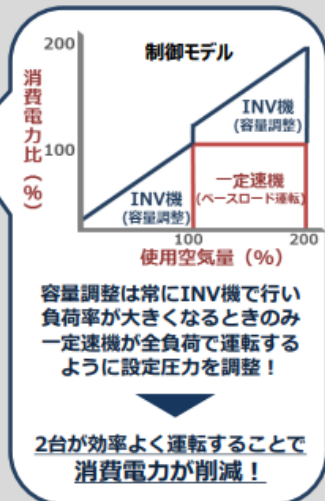
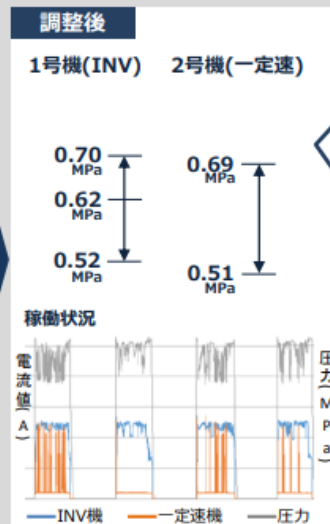
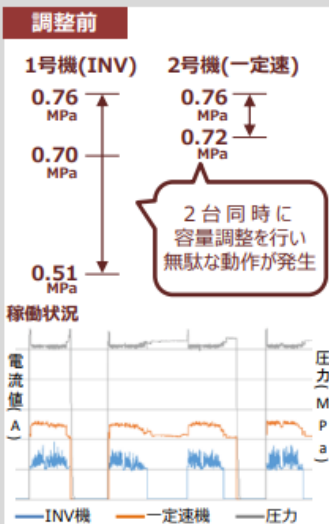
コンプレッサチューニング事例 No.4

チューニング実施日：令和元年7月19日

■(株)太田鉄工所株式会社



●設定圧力



チューニングによる 省エネ効果(測定結果)

削減率

▲56.3%

電力削減量

▲30,690kWh/年

CO2削減量

▲15.2t-CO2

削減金額(¥18.6/kWh)

▲570,800円/年

コンプレッサ単体の電気使用量は、工場全体の電気使用量に隠れていたのが普段は意識していませんでしたが、お金をかけないチューニングだけでここまで削減効果が得られたのは驚きです！

堺市ホームページ掲載

[空気圧縮機・吐出圧力のチューニングによる省エネ事例 堺市](#)

②清掃ボランティア

